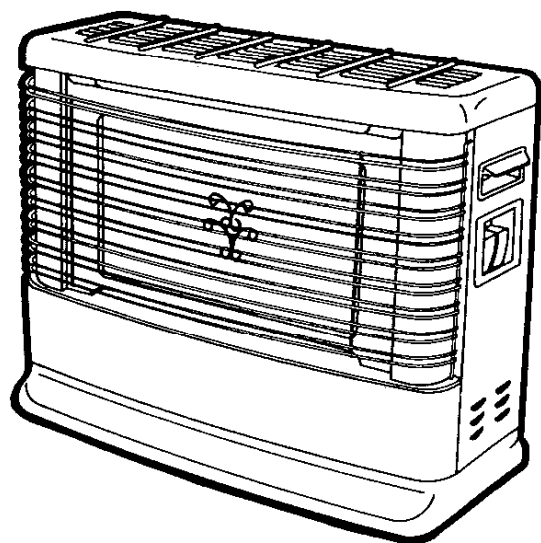


ガス赤外線ストーブ

43-607型

型式名 R-601DMS-201



取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
またはもよりの大阪ガスサービスショッ
プ、もしくは大阪ガス支社にお問い合わせ
ください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブを
お求めいただきまして、
ありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

●機能と特長	1
●必ずお守りください	2・3・4・5
●器具の設置	6
●各部のなまえとはたらき	7
●使用方法	8・9
●使用時のご注意	10
●故障かな?と思ったら	11
●点検・お手入れ	12・13
・乾電池の点検・交換(取り付け方)	12
●寸法図	14
●仕様	15
●保管とアフターサービス	16・17

●乾電池の取り付けのお願い

この器具は、電池式連続放電点火式を採用していますので乾電池の
取り付けが必要です。12ページの取り付け方をごらんになりご使用
前にまず乾電池を器具にセットしてください。

機能と特長

■能力2段切替装置付

お部屋の状態に合せ、「全開」「半開」の2段階に切替え経済的に使用できます。

(9ページをごらんください。)

■不完全燃焼防止装置付

お部屋の酸素不足などによる、不完全燃焼を防ぐ安全装置付です。

自動的に消火します。

(10ページをごらんください。)

■大型ガラス付ソフト暖房

大型のガラス板からソフトなふく射熱を放出。快適な暖房が得られます。

■立消え安全装置付

ご使用中にバーナが消えてしまったときにガスを止め生ガスの放出を防止します。

(10ページをごらんください。)

■電池式連続放電点火装置付

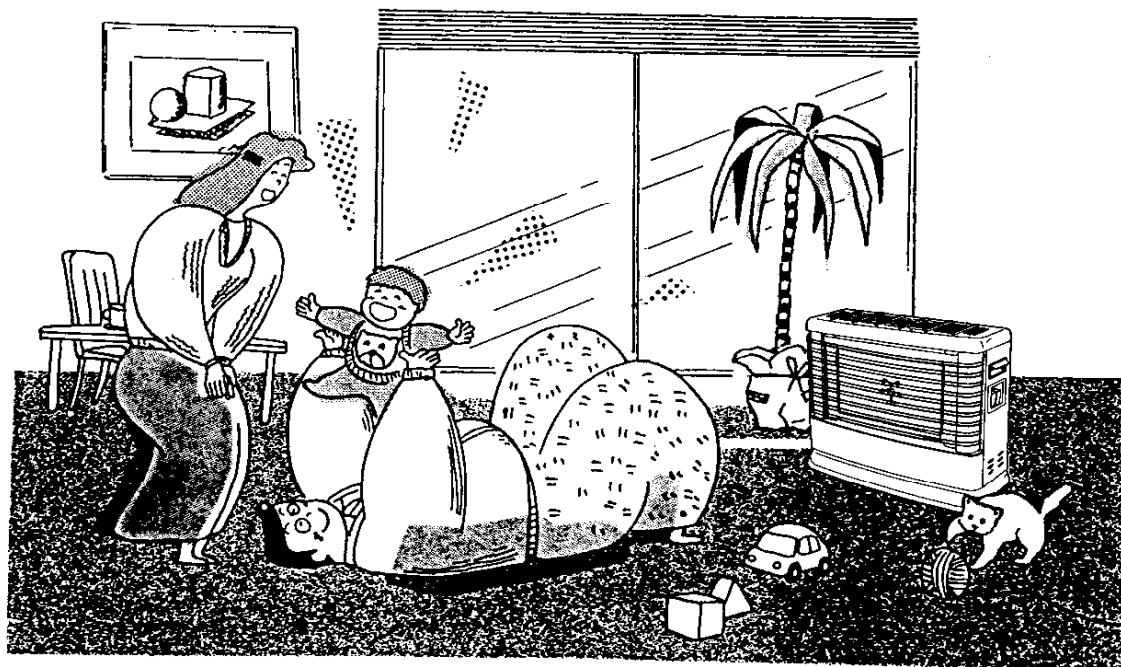
点火・消火はプッシュ式で簡単に操作ができます。

(8、12ページをごらんください。)

■転倒時安全装置付

器具が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、運転を止め事故を防ぐ安全装置付です。

(10ページをごらんください。)



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

■ガスの種類を確かめる

- 器具本体(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外では使用しないでください。
- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転居されたときにも、ガスの種類を必ず確かめてください。(17ページをごらんください。)

メーカー形式

ガスの種類およびグループ

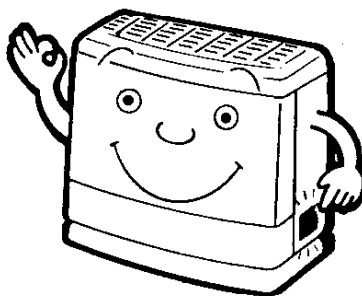
ガス消費量

製造年月および製造番号

製造業者名

●都市ガス用13A

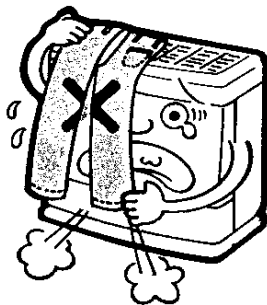
●LPガス用



■用途について

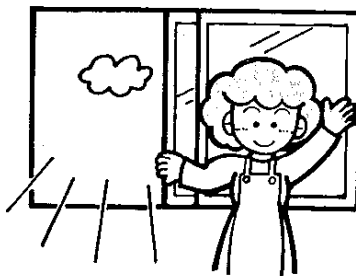
- 暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
- 衣類などを器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。

(異常過熱・火災防止のため)



■換気のご注意

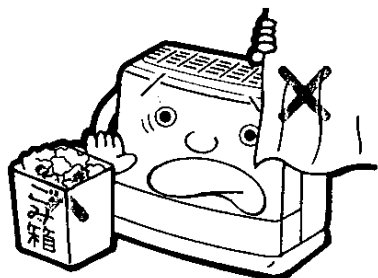
使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気を行ってください。



■使用場所について

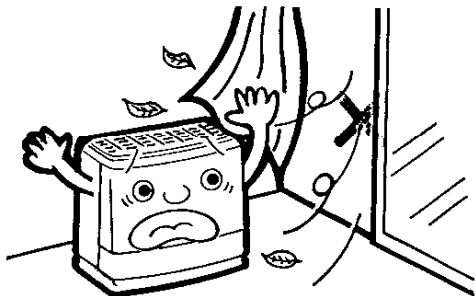
●燃えやすいものからは離して設置!!

家具・壁・カーテンなど燃えやすいものや、スプレー・シンナーなど引火性の強いものからは、じゅうぶん離してください。



●器具に強い風を当てないで!!

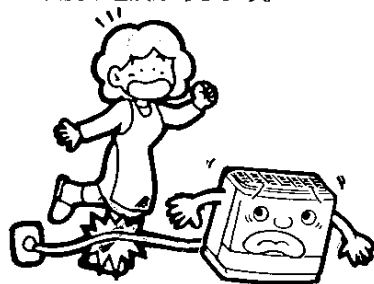
強い風の吹き込むところでは使用しないでください。炎が風で消えることがあります。



●人の通るところに置かないで!!

部屋の出入口など人の通るところへ置かないでください。

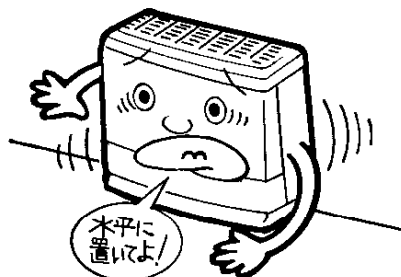
やけどや転倒の危険があります。



●器具は水平に!!

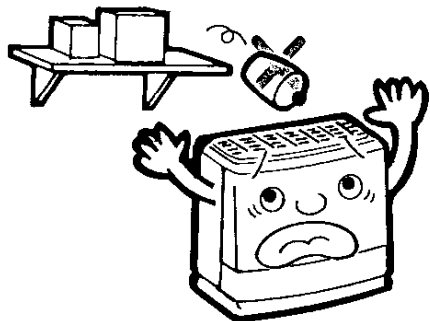
毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板などを敷いて水平にしてください。

(じゅうたんの変色防止のため)



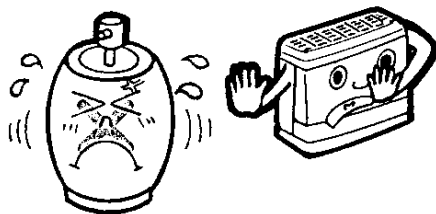
●落下物に注意!!

たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



●スプレー缶を器具の前に置かないで!!

スプレー缶(殺虫剤、ヘアースプレーなど)を器具の前方1m以内に置かないでください。熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発する恐れがあります。

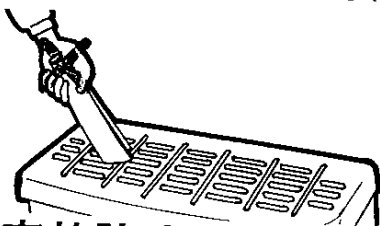


必ずお守りください

■火災予防について

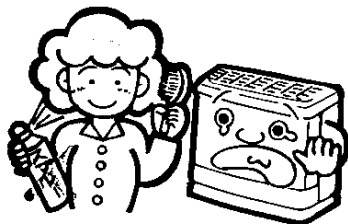
- 点火したまま持ち運ばないでください。
- 器具の中へ物を入れないで!!

器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう入らないように注意してください。万一物が入ってしまったときは、すぐ消火し器具の外へ出すようにしてください。



- スプレーは離れた場所で!!

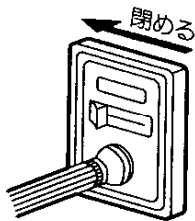
ヘアースプレーなど引火物を器具の近くで使用しないでください。
(引火する危険があります。)



■ガス事故防止

- ガス漏れ防止のために!!

ガスの接続は、必ずガス用ゴム管をお使いください。(6ページをごらんください。) 使用後は必ず器具栓、ガス栓とも閉め消火したことを確かめてください。お出かけや長時間使用しないときは、ガス栓も必ず閉めてください。



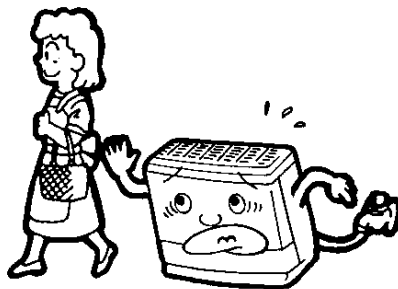
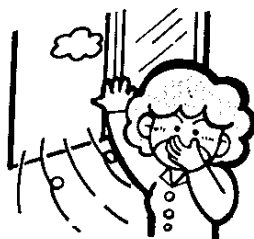
- 外出・就寝はガス栓を閉めて!!

器具をご使用中に外出したり、就寝しないでください。
器具から離れるときも消火するようにしてください。

- ガス漏れに気づいたときは!!

ガス栓を閉じ、窓や戸を全部開けて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

絶対に火をつけたり、電気器具のスイッチの「入・切」などしないでください。
(爆発事故防止のため)

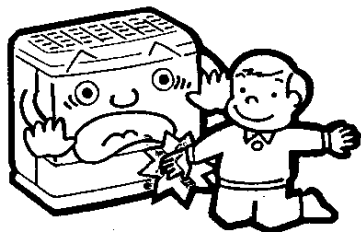


■ やけどの注意

● ご使用中、ご使用直後は、熱くなっています!!

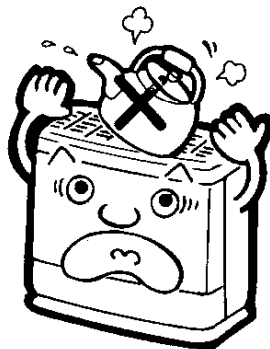
ご使用中および使用直後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。

(特に、小さなお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。)



● やかんのをのせないで!!

器具の上には、なべやかんなどをのせないでください。お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。



● お子様に注意!!

小さなお子様が勝手に点火操作をしないようにご注意ください。

● 器具にのらないで!!

器具の上に腰掛けたり、乗ったりしないでください。

■ 器具の移動について

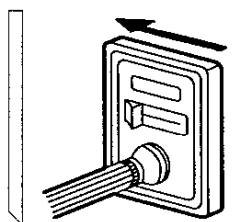
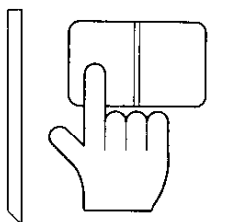
● 器具を移動するときは、必ず持ち上げて移動してください。

器具を、引きずって移動すると、床(畳・じゅうたんなど)にキズがつくことがあります。

■ 異常時の処置

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、あわてず次の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

① 器具栓を止め ② ガス栓を閉め ③ 大阪ガスへ連絡



■ 日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは必ず行ってください。(12、13ページをごらんください。)
- 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

■設置前の準備と確認

●梱包材の除去

ガス接続口には、輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。

■設置上の注意

- 設置するときに、3ページの「使用場所について」をお読みください。

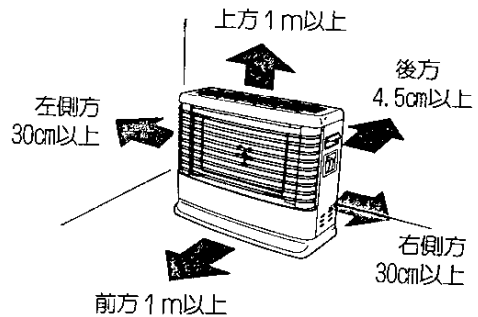
■設置場所について

- じょうぶで水平な場所に置いてください。

特に、毛足の長いじゅうたんなど不安定な場所へ設置するときは、器具の下にじょうぶで不燃性の敷板などを敷き、水平になるようにしてください。

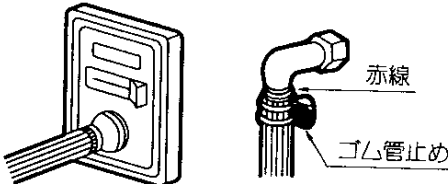
- 周囲の可燃物からは、じゅうぶん離してください。

器具の前方は、1 m以上、
後方は、4.5cm以上、
上方は、1 m以上、
両側方は、30cm以上、
燃えやすいものから離してください。



■ガスの接続

- ガスの接続は、必ず内径 9.5mmのガス用ゴム管を使用してください。
ビニール管は使用できません。



- ガス用ゴム管は、ガス栓・器具のガス接続口とも赤線までじゅうぶん差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあり危険です。

ご注意

- ゴム管は、糺がたしなどはしないでください。
- ゴム管は、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくして（ガス用ゴム管は3 m以内）、使用してください。
- ゴム管は、他の部屋まで延長したり、壁・天井などを通したりしないでください。
- ゴム管は、器具の高温部に触れたり、器具の下を通さないでください。

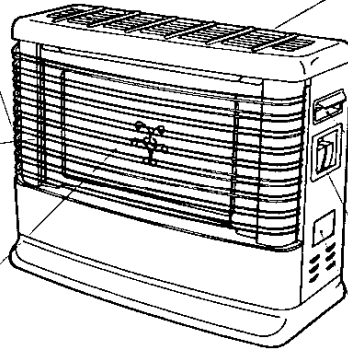
各部のなまえとはたらき

〈正面〉

ご注意ラベル
 使用上での注意事項が表示してあります。
 ご使用前にお読みください。

ガード
 ガラスを掃除するときははずします。
 (13ページをごらんください。)

ガラスふく射面
 ソフトなふく射熱を出します。
 ご使用中、使用直後は熱くなっていますので注意してください。



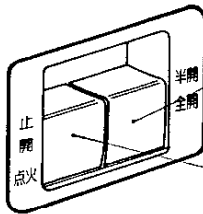
天板
 排気の出口になっています。
 ご使用中、使用直後は熱くなっていますので注意してください。

取っ手
 器具を移動するときに使用します。

操作部

銘板
 ガスの種類が表示してあります。
 (2ページをごらんください。)

〈操作部〉



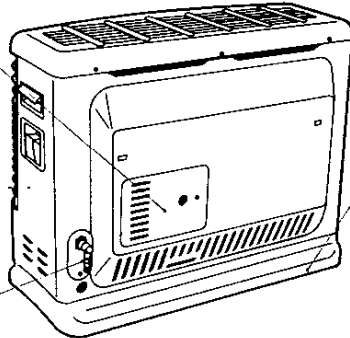
火力切替ボタン
 火力切替をするためのボタンです。
 (9ページをごらんください。)

点火ボタン
 点火・消火するための押ボタンです。
 (8ページをごらんください。)

〈背面〉

点検蓋
 パーナの空気口の掃除をするときははずします。
 (13ページをごらんください。)

ガス接続口
 ゴム管の接続口です。
 (6ページをごらんください。)



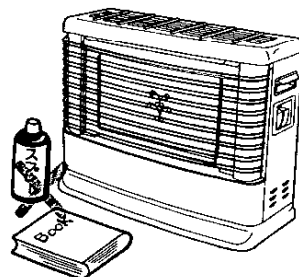
電池ケース
 乾電池を入れます。
 本体底部にあります。
 (12ページをごらんください。)

使用方法

■ 点火前の準備と確認

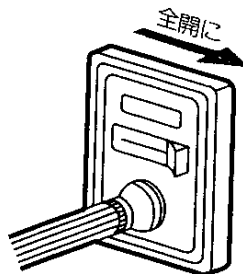
1 器具周囲の確認

- 器具の近くに、スプレーや燃えやすいものがないことを確認してください。



2 ガス栓を開く

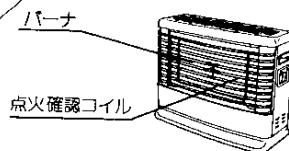
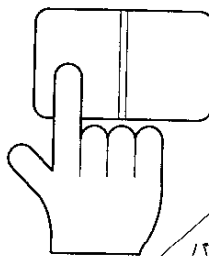
- ガスの接続を確認し、点火ボタンが「止」になっていることを確認してください。
- 点火用の乾電池が入っているか確認してください。(12ページをごらんください。)
- ガス栓は、必ず全開にしてください。



■ 点火のしかた

「点火」ボタンを押します。

- 「点火」ボタンは、ゆっくりいつぱい止まるまで押してください。
- スパーク音がして点火します。
点火すると「点火確認コイル」がガラスの中で輝きバーナに点火したことをお知らせします。
- 点火を確認してから点火ボタンを10秒程押しつづけます。
- 点火ボタンより手を離してからバーナの着火(バーナ表面が赤熱します)を確かめてください。



バーナに着火したことを確かめます。



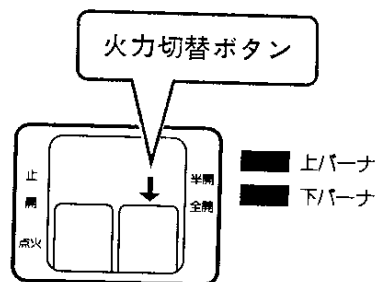
- 点火の際は、ストーブに顔を近づけないでください。
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合は、空気が抜けるまで点火操作をくり返してください。
- 点火しなかったり、点火ボタンから手を離したときバーナの火が消えるときには、すぐに点火ボタンを一旦止めの位置に戻してからあらためて点火操作をくり返してください。
- ガス量を絞ると放射効果が落ちるばかりでなく、不完全燃焼を起こすおそれがありますので、ガス栓は全開でお使いください。
- 点火ボタン、火力切替ボタンは強く押ししたり、足で押さえたりしないでください。

■火力切替のしかた

火力切替は、「火力切替」ボタンを操作し行います。

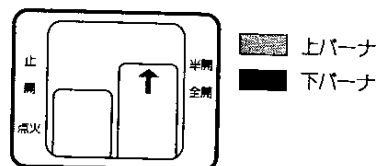
1 半開から全開にしてご使用の場合

- 火力切替ボタンを全開の位置へゆっくりいっばい押しと全開の状態となります。
- バーナに着火し赤熱するのを確かめてください。



2 全開から半開にしてご使用の場合

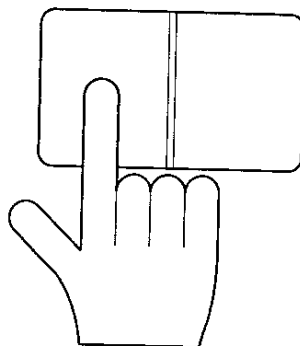
- 火力切替ボタンをいっばい押し手を離すとボタンが戻り半開の状態になります。



■消火のしかた

「点火」ボタンを押します。

- 「点火」ボタンを開の位置でいっばい押し離すとボタンが止の位置へ戻ります。
- 止の位置へ戻るとバーナが消火します。必ず消火したことを確かめてください。



- 点火初期にバーナ上下の赤熱状態が違いますが、数分後にはほぼ同一になります。
- 点火初期に数分間燃焼音(ブーブー音)がする場合がありますが異常ではありません。
- 点火時や消火後に金属の伸縮音(ピチピチ音)がすることがありますが異常ではありません。
- はじめて使用された時、煙やにおいが出る場合がありますが、油などが焼けるためです。しばらく換気しながらご使用ください。
- 常時燃焼型パイロットバーナを採用していますので、器具をご使用中はパイロットバーナが燃焼し続け消火しません。

使用時のご注意

使用中にバーナが消火したときは、すぐに点火ボタンを消火の状態に戻してガスを止め、さらにお部屋のガス栓も「止」の状態に戻して11ページの「故障かな?と思ったら」および、つぎの方法により処置してください。

安全装置が作動したときの処置方法

安全装置	働 き	原 因	処 置 方 法
立消え安全装置	使用中にバーナが消えてしまったとき、ガスを止め生ガスの放出を防止します。	ゴム管を踏んだり、ガス栓の開きが少なかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。	点検後、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼をする前に、燃焼を停止します。	ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。バーナの空気口にほこりがつまっても同様です。	じゅうぶん部屋に換気を行い、バーナの空気口部の掃除を行った後、再点火してください。
転倒時安全装置	器具が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、ガスを止め消火します。	点火したまま器具を持ち運んだり、器具が倒れたときなどにおこります。	いったん点火ボタンを「止」にし、再点火してください。

ご注意

- 安全装置が作動した後、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくり返すような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。

故障かな? と思ったら

故障かな?と思われたら、ただちに使用を中止し、修理・サービスをお申しつけになる前に一度つぎのことをお調べください。

こんなとき お調べいただくこと	点火しない・点火しにくい	点火ボタンより手を離すと消火する	ガスくさい	着火・火移りしやすい	爆発的に着火する	使用中に消火した、消火しやすい	バーナが十分赤熱しない	点火時に「ポツ」という音がする	点火後「ヒチヒチ」という音がする	初めて使用するとき煙やおおいけがする	処置方法 (理由)	参照ページ
											ガス栓の開けやすれ	●
ガス栓の開きが不十分	●	●		●	●	●	●					
ゴム管の接続が不完全	●	●	●	●		●	●				ゴム管を確実に接続する	6
ゴム管内に空気が残っている	●	●		●							点火操作をくり返す	8
ゴム管の折れまがり、つぶれ	●	●		●		●	●				ゴム管の折れ、曲りを直す	6
ゴム管のヒビ割れ、穴あき	●	●	●	●		●	●				ゴム管を交換する	6
長時間換気をせずに使用している						●					部屋を換気する	2
バーナの空気口にほこりが詰っている						●	●				空気口の掃除をする	13
器具が転倒した						●					器具を起こす	10
点火ボタンの押力が不十分	●	●									点火ボタンをいっぱい押す	8
点火ボタンの押時間が不足	●	●									点火ボタンの押時間を長くする	8
器具に強い風が当たった						●					部屋の窓や戸を閉める	3
乾電池が消耗	●										乾電池を交換する	12
故障ではありません								●			点火するときの音です	—
									●		器具内部の膨張・収縮音です	9
										●	しばらく換気しながら使用する。 (油などが焼けるためです)	9

このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、または、もよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社へご連絡ください。

ご注意

●不完全な処置は事故のもとになりますので、絶対にお客さまご自身で修理なさらないでください。

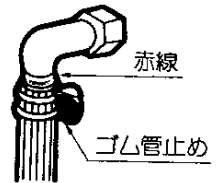
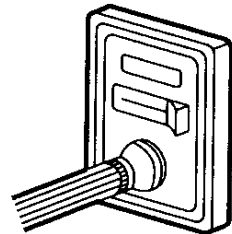
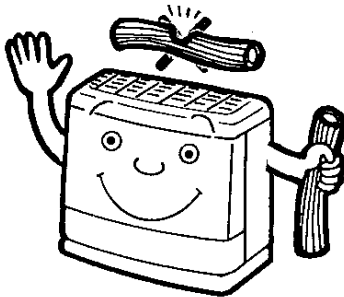
点検・お手入れ

■ 日常の点検

● ゴム管が折れたり、ひび割れたりしていませんか？

- ゴム管や接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
- ひび割れたり、差し込み部がゆるんだゴム管は、必ず取り替えてください。

- ゴム管が器具・ガス栓ともガス接続口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。



■ 乾電池の点検・交換

● 乾電池の取り付け

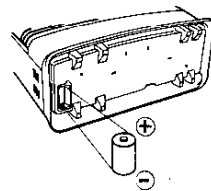
この器具は乾電池による連続放電点火方式を採用していますのでお使いになる前に乾電池を入れてください。

● 電池の寿命について

乾電池は長期間ご使用になると能力が低下します。点火ボタンをいっぱい押した時「パチッパチツ」と音がしますがゆつくり音がする(1秒間に1~2回)ようになったら乾電池を交換してください。

● 乾電池の取り付け方法

乾電池は器具底の電池ケースに取り付けてください。



単1 1.5Vの乾電池を使用し確実にセットしてください。



- ガス赤外線ストーブを安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行ってください。
- 乾電池は、シーズンオフなど長期間使用しないときは、取りはずしておいてください。

ご注意

- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓を閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行ってください。
- バーナの空気口の点検蓋以外の部分は、絶対に分解しないでください。

■ お手入れ

● 器体のお手入れ

汚れたらそのつどお手入れしてください。

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってから拭いてください。
特に汚れのひどいときには、やわらかい布に洗剤をつけて拭き取ってください。

やわらかい布



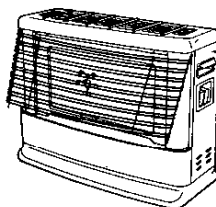
● ガラス板のお手入れ

ガラス板はガードをはずしてお手入れします。
お手入れを長期間しないとほこりがたまったり
しますので欠かさないようにしてください。

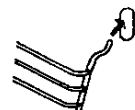
● ガードのはずし方

- ① ガードを上へあげます。
ガードの上部は固定穴に入っています。
- ② 下部を手前に引きはずします。

① ↑
② ←



ガードを取り付けるときは、ガードの先端を両側とも穴へ差し込みます。

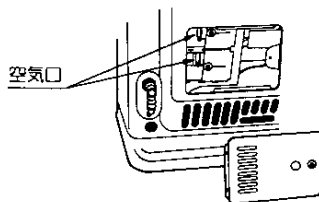


ご注意

- 器体・ガラス板のお手入れは、消火後器具がじゅうぶんに冷えたのを確かめてから行ってください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、絶対にご使用にならないでください。
塗装の色があせたり、樹脂の部品が変色したりします。

● バーナの空気口のお手入れ

シーズン初めのご使用前およびその後1カ月に1回程度、バーナ空気口(空気取り入れ部)にたまったほこりやごみなどを電気掃除機などで取り除いてください。



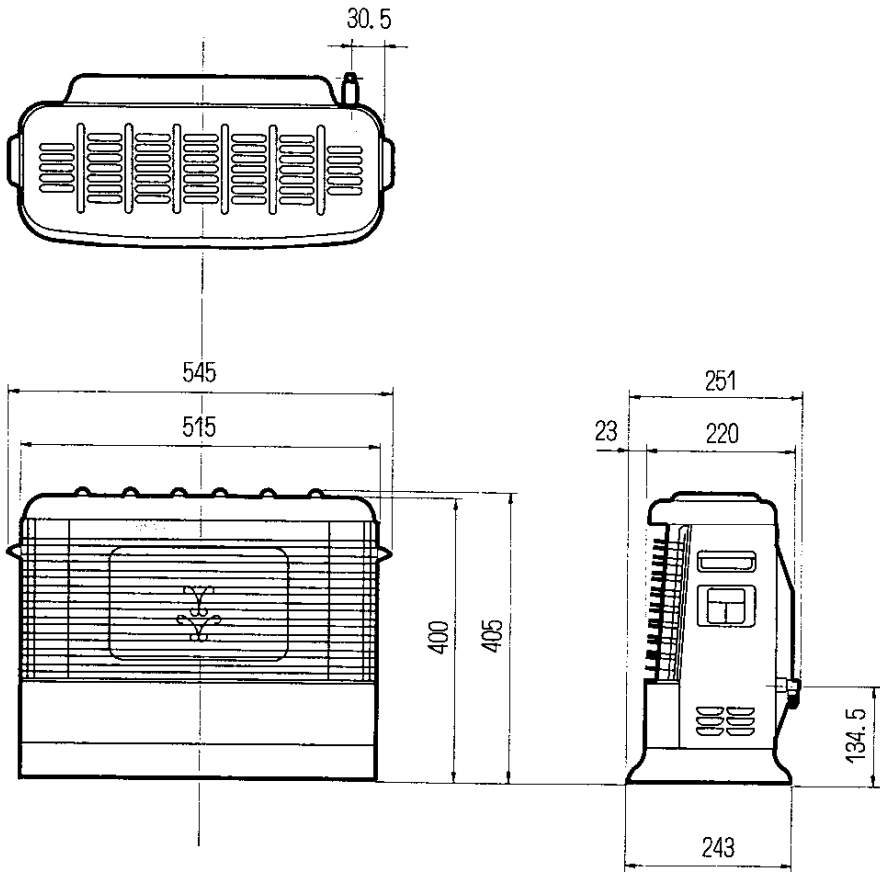
空気口は点検蓋をはずし(ねじで固定してあります)掃除してください。

ご注意

- 器具内部の部品は調整してありますので触れたり、変えたりしないでください。
- 点検蓋以外は、絶対分解しないでください。

寸法図

(単位：mm)



仕様

種 別		43-607型	
		都市ガス 13A	LPガス
項 目		都市ガス 13A	LPガス
ガ ス 消 費 量		2900 kcal/h	0.23 kg/h
暖 房 の 目 や す		木造 8畳まで コンクリート 12畳まで	
外 形 寸 法 (mm) (高さ×幅×奥行)		405 × 545 × 251 (ベース 243)	
重 量 (kg)		8.2	
ガ ス 接 続		9.5mmφガス用ゴム管	
種 類	設置の形態	す え 置 式	
	給排気方式	開 放 式	
	放熱方式	放 射 式	
点 火 方 式		電池式連続放電点火式	
安 全 装 置		<ul style="list-style-type: none"> ○立消え安全装置 ○不完全燃焼防止装置(サーモカップル式) ○転倒時安全装置 	
型 式 名		R-601DMS-201	

保管とアフターサービス

■保管(長期間使用しない場合)

- ガス栓を閉じゴム管をガス栓から取りはずしてください。
- 器具の点検・お手入れをしてください。
 - 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけてください。
 - 特にガス接続口には、ほこりやごみが入って通路がつまりないように注意してください。
 - 湿気やほこりの少ないところに保管してください。
 - お求めになったときの箱に入れておかれると便利です。

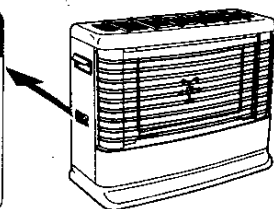
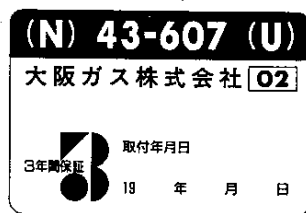
■アフターサービスのお申し込み

●サービスのお申し込み

- 11ページの「故障かな?と思ったら」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名……ガス赤外線ストーブ
- (2) 品 番……左側面下部に貼付してあります。

(例)



- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) お名前、ご住所、電話番号、道順……(できるだけ詳しく)

● 転居されるとき

- ガスには都市ガス13種類およびLPガスの区分があります。

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショッブ、もしくは大阪ガス支社にご相談ください。

この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

● 保証・補修について

この器具には、保証書がついています。

- 保証期間中は……

保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

保証書を紛失されますと、無料期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

- 保証期間経過後の故障修理について

お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

● 点検整備のおすすめ(有料)

- 長期間、安全快適にご使用いただくために定期的に(3シーズンに1回程度)「点検整備」を受けられることをおすすめします。

- 「点検整備」は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショッブ、もしくは大阪ガス支社にご用命ください。(有料)

- 「点検整備」の内容は、下記の通りです。

- ① 機能部品の点検、確認
- ② 清掃整備

大阪ガスのお問い合わせ先

- 大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 電話 大阪 06 (586)3200
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 電話 堺 0722(38)1131
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 電話 高槻 0726(71)0361
東部支社 〒578 東大阪市稲葉2-3-17 電話 河内 0729(62)1131
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話 神戸 078(360)3100
京都支社 〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358 電話 京都 075(231)8151
奈良支社 〒631 奈良市学園北2-4-1 電話 奈良 0742(44)1111
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 電話 和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 電話 姫路 0792(85)2221
豊岡支社 〒668 豊岡市三坂町6-57 電話 豊岡 0796(23)2221
湖南支社 〒525 草津市追分町字荒堀680-1 電話 草津 0775(62)5311
彦根支社 〒522 彦根市大東町12-11 電話 彦根 0749(22)3131
(長浜営業所) 〒526 長浜市南呉服町3-4 電話 長浜 0749(62)7171
本社・ガスビル
サービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 電話 大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガス支社、サービスセンターにご連絡ください。